



主要な農作物の生育情報

平成26年度 第5号

(平成26年8月8日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

7月29日時点での農業総合センターの生育調査では、草丈が平年並から長く、茎数が平年に比べ本部で多く、浜地域で少なく、会津地域で平年並の状況です。出穂期は、平年に比べ2日から4日早まっています。

表1 水稲の生育状況 (※)

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	7月29日調査		出穂状況	
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	出穂始期 本年 (平年)	出穂期 本年 (平年)
本 部	コシヒカリ	5.15	84.2 (101%)	585 (108%)	(8.10)	(8.12)
	ひとめぼれ	5.15	78.9 (100%)	646 (112%)	8.01 (8.03)	8.03 (8.05)
浜 地 域	コシヒカリ	5.9	92.0 (104%)	510 (93%)	(8.10)	(8.11)
	ひとめぼれ	5.9	88.8 (103%)	560 (95%)	7.28 (8.01)	7.30 (8.03)
会津地域	コシヒカリ	5.20	91.8 (102%)	485 (99%)	8.03 (8.06)	8.05 (8.08)
	ひとめぼれ	5.20	89.4 (103%)	587 (103%)	7.28 (7.31)	7.31 (8.03)

※ 調査：農業総合センター本部（郡山）、浜地域研究所（相馬）、会津地域研究所（会津坂下）
草丈、茎数の（ ）内の数字は平年比較を示す。

2 大豆

農業総合センターの生育調査では、開花期が平年に比べ3日から4日遅れました。

また、7月20日時点での生育は、草丈が平年並から短く、乾物重が平年並から少ない状況です。

●農業総合センター作況試験の調査結果はこちらも参考にしてください。

http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/sakkyou_index.htm

【野菜】

1 きゅうり

中通りの露地栽培は、6月下旬～7月中旬まで続いた降雨等により、草勢が低下して側枝の発生が弱まり、平年より収穫量が少ないほ場が多く見られました。しかし、7月下旬以降天候の回復に伴い、弱まっていた側枝の発生の動きが戻っており、果形も良くなってきています。

2 トマト

夏秋栽培は、6月下旬～7月中旬の梅雨期の日照量不足等によって、4～5段のトマトの着色が遅れた影響により、草勢が低下したほ場が多く見られました。その後は7月下旬以降の天候回復により、草勢が回復し、収穫量は増加しています。今後収穫のピークを迎えるほ場が多くなる見込みです。

3 ピーマン

夏秋栽培は、定植期の乾燥による活着不良・生育停滞が発生しましたが、平年並みの7月中下旬より出荷が開始され、概ね順調に生育しています。

病害虫では、アブラムシ類、オオタバコガが発生していますので注意が必要です。

4 アスパラガス

会津地方の半促成栽培では、現在、夏取りの出荷のピークを迎えています。露地栽培は、今後出荷量が増加する見込みです。

【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると「ゆうぞら」の縦径は58.0mmで平年比104%、側径が58.3mmで平年比106%と平年より大きい状況です。

「あかつき」の収穫開始は、平年より4日早い7月29日（果樹研究所）で、収穫盛りは、平年より2日早い8月4日でした。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると「幸水」の縦径は59.9mmで平年比113%、横径が73.9mmで平年比114%、「豊水」の縦径は59.2mmで平年比112%、横径が67.7mmで平年比116%と、両品種ともに平年より大きい状況です。

DVRモデルによる「幸水」の収穫予測では、収穫盛期が8月31日頃で平年より2日早いと予測されます。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると「つがる」の縦径は65.6mmで平年比106%、横径が77.4mmで平年比103%、「ふじ」の縦径は62.3mmで平年比105%、横径が70.4mmで平年比108%と両品種ともに平年より大きい状況です。

【花 き】

1 小ギク

中通りの8月咲き作型の生育は、例年に比べてやや早くなり、7月20日過ぎから出荷が始まり、出荷ピークは7月下旬から8月上旬でした。

9月咲きの作型の生育は、概ね例年並であり、一部の品種では出蕾期を迎えています。病害では、白さび病が発生しており注意が必要です。

2 りんどう

南会津地方の8月盆咲き作型の生育は、雪解けが遅く4月の乾燥の影響もあり、平年より若干遅れていますが、出荷盛期は8月11日頃になる見込みです。

【飼料作物】

牧草は、平坦部では7月中旬から、山間部では8月上旬から2番草の収穫作業が行われており、品質は平年並です。

飼料用とうもろこしの生育は、収穫期、収量ともに平年並が予想されます。早生種では8月中旬に収穫期を迎える見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、熱中症対策をしっかりと行い、
体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも十分注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyouhou>